

JSPHO ニュース No.125 2024/10/10

日本小児血液・がん学会
会員 各位

いつも本学会の活動にご協力いただきありがとうございます。
JSPHO ニュース第 125 号をご送付申し上げます。
是非、ご一読ください。

◆◆日本小児血液・がん学会最新情報◆◆

(1)【再掲】2027 年の学術集会長立候補募集を開始いたします。
詳細は下記 URL よりご確認願います。

https://www.jspho.org/activity/files_index.html#20240905

(2)第 165 回日本医学会シンポジウム開催のお知らせについて
「災害医療の現状と今後の課題」

日時:2024 年 11 月 16 日(土曜日)13:00~17:05

場所:日本医師会館 1 階大講堂 東京都文京区本駒込 2-28-16

開催案内:<https://jams.med.or.jp/event/symposium.html>

申込 URL:<https://e-ve.event-form.jp/event/88116/O0h7>

※開催当日のライブ配信はございませんのでご注意ください。

講演の内容につきましては、後日、「Online ライブラリー」にて映像配信の予定です

(3)【再掲】公益財団法人がんの子どもを守る会「2024 年度海外留学助成事業」のご案内
小児がんに関わる若手の医療関係者が、海外の医療施設や研究・教育施設等に留学することにより、小児がん医療に関する高度な知見や資格・技術等を習得・取得し、広く小児がん医療及び患児・家族の療養環境の向上に寄与できることを目的として、当会が留学にかかる費用を助成致します。

なお、今年度からより多くの方に応募いただけるように、募集期間の長期化や年齢上限の緩和等募集条件を変更しております。

ご応募については応募用紙を期限までにお送りいただきますようお願い致します。

■募集期間:2024年5月1日(水)～10月31日(木)必着

※郵送にてご応募ください

■募集要項:海外留学助成事業_募集要項2024年度版

<https://www.ccaj-found.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/ca9511dd99fb8f5b5e6042509ca712f1.pdf>

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.ccaj-found.or.jp/activities/research_studies/porf_abroad/

(4)「第10回 AYA 世代がんサポート研修会」開催のお知らせ

本研修会は、AYA がんに関する基本的な知識を身につけ、個人のスキルアップを図ることを目的としています。

開催日時:2024年12月7日(土)10:00～17:00(予定)

現地開催:web 開催(zoom)

定員:40名(先着)

会費:個人会員 9,000円/名

 団体会員 無料(1団体1名まで / 年)

 非会員 17,000円/名

受付期間:～10月7日(月)17:00まで

●申し込みフォーム:<https://forms.gle/v7qGxXVDmMAYrLXa7>

※ 事前に、e-learning 講義受講と確認テスト合格をお願いしております。

●詳細はこちら

https://aya-ken.jp/event/support_workshop10

(5)第3回 AYA 研ゼミ「AYA 世代のがん経験とアイデンティティ」開催のお知らせ

日 程:2024年10月4日 [金] 17:30-18:30

会 場:WEB 開催[ZOOM ウェビナー]

会 費:1,000円(AYA 研準会員は有料、正会員/学生会員/賛助会員/団体会員は無料)

定 員:200名

テーマ:「AYA 世代のがん経験とアイデンティティ」

講 師:講師:河田 純一さん

 東京大学医科学研究所

AYA 世代、特に A 世代の課題としてアイデンティティの「確立」が取り上げられることがあります。しかし、私たちのアイデンティティは大人になれば完成するものなのでしょうか？

今回の AYA 研ゼミでは、心理学でもなく、社会学の立場からがん経験とアイデンティティを取り上げます。がんを経験することは、アイデンティティにどう影響するのでしょうか、ピア・サポートの「ピア」意識はアイデンティティとどんな関係にあるのでしょうか、そして、どんなサポートが考えられるのでしょうか。いつもよりちょっと(?)「文系」な視点からみなさんと考えたいと思います。

●申込方法:Peatix[外部サイト]にて受付いたします

●事前申込期間:~10月3日(木)13:00

https://aya-ken.jp/event/web_zemi3

(6)第4回 AYA 研ゼミ「小児・AYA 世代がんサバイバーの CoC を考えるー医療とキャリア支援ー」開催のお知らせ

日程:2024年12月20日[金]17:30-18:30

会場:WEB開催[ZOOM ウェビナー]

会費:1,000円(AYA研準会員は有料、正会員/学生会員/賛助会員/団体会員は無料)

定員:200名

テーマ:「小児・AYA 世代がんサバイバーの CoC(Continuity of Care)を考えるー医療とキャリア支援ー」

講師:講師:樋口 明子さん

国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科特任研究員

社会福祉士/精神保健福祉士

CoCとは、患者が異なる医療機関や生活状況においても一貫した適切なケアを継続的に受けられることを指します。がん治療は患者の心身と、社会的自立を含むキャリアに大きな影響を与えます。現在、小中学校でキャリア教育が行われており、これはがん罹患前(場合によっては治療中)から既に始まっているキャリア支援の一環と言えます。本来、このキャリア支援はがん診断時、治療中、そして治療後まで切れ目なく続くことが求められています。

がん罹患前、がん治療中、がん治療後と、がんサバイバーの人生全体を見据えた医療・キャリア支援のケアを提供するために、CoCをどのように活用できるか、皆さんと共に改めて確認し、考えを深める機会になればと思っています。

●申込方法:Peatix[外部サイト]にて受付いたします

●事前申込期間:~12月12日迄

https://aya-ken.jp/event/web_zemi4

(7)2025年8月~2026年6月派遣の武見国際保健プログラムのフェロー募集要項の案内
2025-26年度武見プログラムフェロー募集要項

https://www.jspho.org/files/oshirase/20240920_1.pdf

(8)【再掲】今後の学術集会 会期のお知らせ

<第66回(2024年)日本小児血液・がん学会学術集会>

会期:2024年12月13日(金)~15日(日)

会場:国立京都国際会館(京都府)

会長:足立 壯一(滋賀県立総合病院)

<https://www.congre.co.jp/jspho2024/>

<第67回日本小児血液・がん学会学術集会>

会期:2025年11月19日(水)~11月21日(金)※平日開催となります。

会場:福岡国際会議場(福岡県)

会長:田尻 達郎(九州大学大学院医学研究院)

(9)日本医学会からのお知らせ

・医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて

薬理作用に基づく医薬品の適応外使用事例については、平成24年11月29日付(医学会発第56号)として診療報酬明細書の審査にあたり認められるべき事例を随時募集し、また、収集した事例については定期的に厚生労働省に提示しています。

今回、8例の適応外使用事例が認められることになりましたので、ご報告申し上げます。詳細につきましては添付ファイルをお目通し下さい。

「医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱い」について

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20241003a.pdf>

添付資料

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20241003b.pdf>

・令和6年9月24日付にて厚生労働省医薬局医薬品審査管理課より

ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(尿路上皮癌)の一部改正について

ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(尿路上皮癌)の一部改正について

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20240927.pdf>

<厚生労働省ホームページ掲載先>

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/new/tsuchi/new.html>

⇒医薬局をクリックしますと、該当する通知をお探しいただけます。

<お問い合わせ先>

厚生労働省 医薬局

医薬品審査管理課 佐藤 様

TEL:03-5253-1111(内線 2736)

・令和6年9月13日付にて厚生労働省医薬局医薬品審査管理課より

デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎)の一部改正について

060913_事_デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎)の一部改

https://www.jspho.org/files/oshirase/20240920_2.pdf

<厚生労働省ホームページ掲載先>

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/new/tsuchi/new.html>

⇒医薬局をクリックしますと、該当する通知をお探しいただけます。

<お問い合わせ先>

厚生労働省 医薬局

医薬品審査管理課 菅井 様

TEL:03-5253-1111(内線 2740)

(10)【再掲】<20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究>(学会疾患登録)

を利用した研究審査申請の流れについて

臨床研究の審査申請については、データベース利用の有無によって申請の手順が異なります。

データベースを利用しない場合:研究審査委員会へ研究計画書を提出し、承認を取得してください。

データベースを利用する場合:学術・調査委員会研究計画書を提出し、その後、研究審査委員会の承認を取得してください。

手続きの詳細についてはそれぞれ下記のページをご確認くださいませようお願い申し上げます。

研究審査委員会

https://www.jspho.org/activity/standing_committee_clinical_research.html

学術・調査委員会

https://www.jspho.org/activity/standing_committee_academic.html

(11)【再掲】疾患登録アセント文書の公開

「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」(学会疾患登録)の研究計画書が第4版から第5版へ改訂されました。

一括審査をされない施設は、下記ページより研究計画書第5版をダウンロードしてください。

施設内での倫理審査承認を得られましたら、その承認書を学会事務局へご提出ください。

疾患登録ページ

<https://www.jspho.org/activity/toroku.html>

※学会研究審査委員会より承認されましたアセント文書(高学年用および低学年用)をHPに掲載しております。

・アセント文書(低学年用)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/assent_tei.pdf

・アセント文書(高学年用)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/assent_kou.pdf

・学会審査承認書(アセント文書)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/syoninsyo_assent.pdf

※すでに当研究計画書第4版の施設倫理審査承認を得ている施設におかれましては、アセント文書追加の変更申請もあわせて各施設の体制に従って行っていただきますようお願いいたします。

また、これから施設倫理審査を新規申請する施設は、アセント文書も含めて倫理審査を実施くださいますようお願い申し上げます。

発行：一般社団法人 日本小児血液・がん学会 社会・広報委員会

配信：一般社団法人 日本小児血液・がん学会 事務局(jspho@asas-mail.jp)

※本メールは発信専用アドレスからの配信のため、本メールへの返信をこちらで受信することはできません。